

第233回:太子党ではない、紅二代だ！

シノロジーとは大量の文書を解読する作業の繰り返しである。M.ヴェーバーではないが、情熱と判断力を駆使しつつ、堅い板に力をこめてじわっじわっと穴をくり貫く根気の要る作業だ。読み易い文書ならまだしも、中国語や英語で意図的に虚偽や政治プロパガンダを散りばめた文書が多いから疲れる。これに比べればビジネス文書のチェックなんて楽なものだ。とはいえ、これも起案者の知的水準による。政治家も経営者も似たようなもので、リーダーが抱く熱き思いの理想像と、現状を踏まえた冷徹な現実論の二面性を起案者が理解した上で文書を組み立てないと、理想と現実、当方の視点と顧客の視点がごっちゃになり、伊勢海老と豚モツの味噌煮込みのような、食うに食えない、読むに読めない文書が周囲に異臭を放つことになる。

ひとから揶揄されたくなければ「もし自分が逆の立場だったら、この文書を読んでどう理解するだろうか」と相手の立場に立って考えることだ。たとえば中国問題で言えば今週の中国の大政変。習近平政権が遂に腐敗汚職追及の最大標的とみられてきた中国共産党の前政治局常務委員・周永康の取り調べを公表した。なぜこれが大問題かと云えば中国共産党はトップの合議制が原則である。周永康の現役時代は、胡錦濤がトップだったが、周永康は胡錦濤と同レベルの最高機密にアクセスすることができた上、彼の主管は泣く子も黙る司法・警察・諜報であった。周永康が引退と同時に、最高機密情報ファイルを潔く全て後任に渡したと云う保証はない。だからこれまで政治局常務委員に対しては、現職OBを問わず「刑不上常委」(常務委員には刑事責任を追及しない)との不文律があったが、習政権はこの慣例を破り、伏魔殿を開けてしまった。なぜ習近平はこんな大胆な振るまいに出たのか、実は彼の立場に立って考えるとそう難しい話ではない。

彼は江沢民の上海派と、胡錦濤率いる共青团派との妥協の産物でトップに就いた運のいい人物だ。彼の取柄は太子党の出自だけ。いまのチャイナ・セブンを分類すると(番号は党内序列)、江沢民派は③張徳江、④俞正声、⑤劉雲山、⑦張高麗の4人。共青团派は②李克強ひとり。習近平派は習近平と、同じ太子党の⑥王岐山だけである。このまま事態を放置すると、すぐに17年末の第19回党大会がやってくる。引退年齢ルールの関係で17年以降も続投可能なチャイナ・セブンは習近平と李克強だけであり、定年の張徳江たち5人の補充は、原則18名の政治局委員からの昇格で補われる。このままだと誰が見ても、李源潮(国家副主席)と汪洋(副首相)は当選確実で、若手のホープ胡春華も有力、そうなれば次の最高指導部は共青团派が過半数を占めること確実だ。習近平派には栗戦書(中央弁公庁主任)しかいない。

だから習近平はいちかばちかの賭けに出て、ミニ文化大革命を発動し、権力の独占を目指したのである幸いなことに、大義名分が汚職追放だから国民は反対するどころか、巨悪の摘発に大喝采である。時代は2年ほど前に遡るが、次期国家主席に内定と見られていた習近平副主席(当時)が2012年9月に約2週間「失踪」したことがあった。北京で予定されていたクリントン米國務長官ら海外要人との会談をドタキャンしたことで異変が発覚し、胡錦濤の後任として総書記に就く秋の共産党大会を控え、国内外で負傷説や病気説など様々な臆測が広がった。最終的に習近平は2週間後に公の場に元気な姿を見せたが、当局は姿を見せなかった理由等の詳細は報じなかった。最近になって香港紙が「実はあのとき習近平は密かに百名を超える太子党と面談し、今後の施政方針を説明して支持を訴えていた」とすっぱ抜いた。報道によると太子党

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

の総勢は約4万人、そのうち8割強が左派、2割弱が改革志向の右派と云うが、習近平は立場を問わず彼らの中の影響力を持つ要人たちと面談した。その結果、こないだ安倍首相と面談した胡德平(胡耀邦元主席の息子=改革派)のように明確な支持を表明しなかった人物もいたが、大半は習近平政権に支持を表明したと云う。あのとき習近平と会ったと云う人が最近始めており、可能性の高い情報のようだ。尚、指導者の子弟を海外では(揶揄を込め)「太子党」と呼ぶが、共産党で派閥を作るのは大罪である。林彪や四人組が失脚した罪状の一つが党内に派閥を作ったことにある。だから習近平が「自分は太子党だ」と発言するわけがなく、彼らは自分たちのことを「紅二代」と呼ぶ。即ち中華人民共和国の建国(1949年)に大きな功績があった革命第一世代の子弟と云う意味だ。厳密な定義があるわけではないが長征の経験者で、少なくとも建国後に次官級ないしは将官級以上の要職に就いた指導者の子弟が該当するようだ。

中国の高度成長と歩調を合わせ、近年その「紅二代」が、政治やビジネスの世界で、親の七光りと実力をこきまぜて頭角を現し始めている。気を見るに敏な中国人らしく、最近「紅二代」の応援団体として「官二代」という大物官僚の子弟グループが加わり、「紅二代」・「官二代」連合軍は必ずしも一枚岩ではないものの、徐々に中国政財界を動かす大利益集団となりつつある。その太子党から初めて中国の指導者になるのが習近平か薄熙来か、はたまた王岐山かと云われていたわけだが、結果はご承知のとおりで、いま薄熙来は刑務所に、王岐山は習近平と最強タッグを組み、明暗を分けている。

彼ら「紅二代」の結集大会が、昨年10月の「故習仲勳生誕百年記念式典」だった。習近平の父は副首相級の大物政治家だったが、北朝鮮のような指導者の父親の生誕記念式典は共産中国で聞いたことがない。このイベントにおいて、習仲勳の姿をかたどった記念切手が発行され、関連書籍も出版され、広東省や陝西省など習仲勳ゆかりの地では祝賀式典が行われた。国営テレビ中央電視台では六夜連続ドキュメンタリー番組を放送し、10月15日当日は人民大会堂で記念式典が行われ、習一族が結集した。いま習近平は全ての権限を自分に集中させ絶好調、望月の欠けたることも無しと思へば、の心境だろう。最後はネットジョーク。習近平が「今度の地方視察で地元の貧しい農村を訪問したい」と云い出した。大事な行事なので、地元の党書記が直接農民を訪ねてこう伝えた。「来週習近平・国家主席・党総書記・軍事委員会主席・中央全面改革深化領導小組組長・中央国家安全委員会主席・中央軍事委国防軍隊改革深化領導小組組長・中国インターネット安全情報領導小組組長・中央財經領導小組組長が君の家を訪問される」。それを聞いた農民曰く、「大変有難く名譽なことですが、わが家は陋屋でそんなに多くの方は入れません」。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年8月1日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040